不利益処分の処分基準

(平成 30 年 4 月 1 日作成)

処 分 名	浄化槽清掃業の許可の取消し等
根拠法令(例規)及び条項	浄化槽法第 41 条第 2 項
法令(例規)番号	昭和 58 年法律第 43 号
関 係 条 項	美唄市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第 17 条
所 管 課 係 名	生活環境課環境係
審 査 基 準	<p>(指示、許可の取消し、事業の停止等)</p> <p>第四十一条 市町村長は、浄化槽の清掃について、生活環境の保全及び公衆衛生上必要があると認めるときは、当該浄化槽清掃業者に対し、必要な指示をすることができる。</p> <p>2 市町村長は、浄化槽清掃業者の事業の用に供する施設若しくは浄化槽清掃業者の能力が第三十六条第一号の基準に適合しなくなつたとき、又は浄化槽清掃業者が次の各号の一に該当するときは、その許可を取り消し、又は六月以内の期間を定めてその事業の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。</p> <p>一 第十二条第二項の命令に違反したとき。</p> <p>二 不正の手段により第三十五条第一項の許可を受けたとき。</p> <p>三 第三十六条第二号イ、ハ又はホからヌまでのいずれかに該当することとなつたとき。</p> <p>四 第三十七条の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をしたとき。</p> <p>五 前項の指示に従わず、情状特に重いとき。</p>
	審査基準未設定理由
標準処理期間	1 日
備 考	

不利益処分 of 処分基準

(平成 30 年 4 月 1 日作成)

処 分 名	生活環境保全上の支障の除去等の命令	
根拠法令(例規)及び条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 19 条の 4 の 2 第 1 項	
法令(例規)番号	昭和 45 年法律第 137 号	
関 係 条 項		
所 管 課 係 名	生活環境課環境係	
処 分 基 準	基 準	<p>(措置命令)</p> <p>第十九条の四 一般廃棄物処理基準（特別管理一般廃棄物にあつては、特別管理一般廃棄物処理基準）に適合しない一般廃棄物の収集、運搬又は処分が行われた場合において、生活環境の保全上支障が生じ、又は生ずるおそれがあると認められるときは、市町村長（前条第三号に掲げる場合にあつては、環境大臣。第十九条の七において同じ。）は、必要な限度において、当該収集、運搬又は処分を行つた者（第六条の二第一項の規定により当該収集、運搬又は処分を行つた市町村を除くものとし、同条第六項若しくは第七項又は第七条第十四項の規定に違反する委託により当該収集、運搬又は処分が行われたときは、当該委託をした者を含む。次条第一項及び第十九条の七において「処分者等」という。）に対し、期限を定めて、その支障の除去又は発生の防止のために必要な措置（以下「支障の除去等の措置」という。）を講ずべきことを命ずることができる。</p> <p>2 前項の規定による命令をするときは、環境省令で定める事項を記載した命令書を交付しなければならない。</p>
	処分基準の未設定理由	<p>㊦：審査基準が法令及び条例等に定め尽くされているもの</p> <p>イ：処分実績がない又は将来的に見込みのないもの</p> <p>ウ：あらかじめ具体的な基準を定めることが困難なもの</p>
備 考	意見陳述の手続一弁明の機会の付与	

不利益処分の処分基準

(平成 30 年 4 月 1 日作成)

処 分 名	墓地等施設の整備改善、使用制限若しくは禁止命令又は許可の取消しに対する処分
根拠法令(例規)及び条項	墓地、埋葬等に関する法律第 19 条
法令(例規)番号	昭和 23 年 5 月 31 日法律第 48 号
関係条項	美唄市墓地、埋葬等に関する法律施行細則第 6 条
所管課係名	生活環境課環境係
処 分 基 準	<p style="text-align: center;">(施設の基準)</p> <p>第 6 条 墓地等の施設は、次に掲げる基準に適合するものでなければならない。ただし、市長が公衆衛生上その他公益の見地から支障がないと認めるときは、この限りでない。</p> <p>(1) 墓地</p> <p>ア 周囲には、風致を保持する障壁等が設けられていること。</p> <p>イ 通路は、幅員 1 メートル以上で砂利等が敷設されていること。</p> <p>ウ 適当な排水路が設けられていること。</p> <p>エ 墳墓の 1 区画当たりの面積は、3 平方メートル以上であること。</p> <p>(2) 納骨堂</p> <p>ア 堅固な建物で、防火設備が設けられていること。</p> <p>イ 出入口又は納骨装置は、施錠できるものであること。</p> <p>(3) 火葬場</p> <p>ア 周囲には、塀、柵又は樹木により境界が設けられていること。</p> <p>イ 火炉及び煙筒が備えられ、かつ、集じん及び脱臭の装置が設けられていること。</p> <p>ウ 火炉の扉は施錠できるものであること。</p> <p style="text-align: center;">(大規模な墓地の施設の基準)</p> <p>第 7 条 10 ヘクタール以上の墓地は、前条第 1 号に規定する基準のほか、次に掲げる基準に適合するものでなければならない。ただし、市長が公衆衛生上その他公益の見地から支障がないと認めるときは、この限りでない。</p> <p>(1) 墳墓の区画の面積の総計は、墓地の面積の 3 分の 1 以下であること。</p> <p>(2) 周囲には、かん木等を配置した適切な緑地帯が設けられ、墓地内には、緑地が適正に配置されていること。</p> <p>(3) 幅員 6 メートル以上の幹線通路及び幅員 2 メートル以上のその他の通路が設けられていること。</p> <p>(4) 墳墓の 1 区画当たりの面積が、4 平方メートル以上であること。</p> <p>(5) 事務所、休憩所、便所、水道又は井戸、駐車場等必要な施設が設置されていること。</p>

	処分基準の未設定理由	⑦：審査基準が法令及び条例等に定め尽くされているもの イ：処分実績がない又は将来的に見込みのないもの ウ：あらかじめ具体的な基準を定めることが困難なもの
備	考	意見陳述の手続—弁明の機会の付与

不利益処分の処分基準

(平成 30 年 4 月 1 日作成)

処 分 名	一般廃棄物収集運搬業・処分業の許可の取消し
根拠法令(例規)及び条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 7 条の 4
法令(例規)番号	昭和 45 年法律第 137 号
関係条項	美唄市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則第 8 条
所管課係名	生活環境課環境係
審 査 基 準	<p>(許可の取消し)</p> <p>第七条の四 市町村長は、一般廃棄物収集運搬業者又は一般廃棄物処分業者が次の各号のいずれかに該当するときは、その許可を取り消さなければならない。</p> <p>一 第七条第五項第四号ロ若しくはハ(第二十五条から第二十七条まで若しくは第三十二条第一項(第二十五条から第二十七条までの規定に係る部分に限る。)の規定により、又は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の規定に違反し、刑に処せられたことによる場合に限る。)又は同号トに該当するに至ったとき。</p> <p>二 第七条第五項第四号チからヌまで(同号ロ若しくはハ(第二十五条から第二十七条までの規定により、又は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の規定に違反し、刑に処せられたことによる場合に限る。)又は同号トに係るものに限る。)のいずれかに該当するに至ったとき。</p> <p>三 第七条第五項第四号チからヌまで(同号ニに係るものに限る。)のいずれかに該当するに至ったとき。</p> <p>四 第七条第五項第四号イからヘまで又はチからヌまでのいずれかに該当するに至ったとき(前三号に該当する場合を除く。)</p> <p>五 前条第一号に該当し情状が特に重いとき、又は同条の規定による処分に違反したとき。</p> <p>六 不正の手段により第七条第一項若しくは第六項の許可(同条第二項又は第七項の許可の更新を含む。)又は第七条の二第一項の変更の許可を受けたとき。</p> <p>2 市町村長は、一般廃棄物収集運搬業者又は一般廃棄物処分業者が前条第二号又は第三号のいずれかに該当するときは、その許可を取り消すことができる。</p>
	審査基準未設定理由
標準処理期間	1 日
備考	

不利益処分の処分基準

(平成 30 年 4 月 1 日作成)

処 分 名	一般廃棄物収集運搬業・処分業の事業の停止
根拠法令(例規)及び条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 7 条の 3
法令(例規)番号	昭和 45 年法律第 137 号
関 係 条 項	美唄市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則第 8 条
所 管 課 係 名	生活環境課環境係
審 査 基 準	<p>(事業の停止)</p> <p>第七条の三 市町村長は、一般廃棄物収集運搬業者又は一般廃棄物処分業者が次の各号のいずれかに該当するときは、期間を定めてその事業の全部又は一部の停止を命ずることができる。</p> <p>一 この法律若しくはこの法律に基づく処分に違反する行為（以下「違反行為」という。）をしたとき、又は他人に対して違反行為をすることを要求し、依頼し、若しくは唆し、若しくは他人が違反行為をすることを助けたとき。</p> <p>二 その者の事業の用に供する施設又はその者の能力が第七条第五項第三号又は第十項第三号に規定する基準に適合しなくなつたとき。</p> <p>三 第七条第十一項（前条第二項において準用する場合を含む。）の規定により当該許可に付した条件に違反したとき。</p>
	<p>審査基準未設定理由</p> <p>㊦：審査基準が法令及び条例等に定め尽くされているもの イ：実績がない又は将来的に見込みのないもの ウ：あらかじめ具体的な基準を定めることが困難なもの</p>
標準処理期間	1 日
備 考	

不利益処分 of 処分基準

(平成 30 年 4 月 1 日作成)

処 分 名	一般廃棄物処理業者等への改善命令	
根拠法令(例規)及び条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 19 条の 3 第 1 号	
法令(例規)番号	昭和 45 年法律第 137 号	
関係条項	美唄市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第 16 条	
所管課係名	生活環境課環境係	
処 分 基 準	基 準	<p>(改善命令)</p> <p>第十九条の三 次の各号に掲げる場合において、当該各号に定める者は、当該一般廃棄物又は産業廃棄物の適正な処理の実施を確保するため、当該保管、収集、運搬又は処分を行つた者（事業者、一般廃棄物収集運搬業者、一般廃棄物処分業者、産業廃棄物収集運搬業者、産業廃棄物処分業者、特別管理産業廃棄物収集運搬業者、特別管理産業廃棄物処分業者及び無害化処理認定業者（以下この条において「事業者等」という。）並びに国外廃棄物を輸入した者（事業者等を除く。）に限る。）に対し、期限を定めて、当該廃棄物の保管、収集、運搬又は処分の方法の変更その他必要な措置を講ずべきことを命ずることができる。</p> <p>一 一般廃棄物処理基準（特別管理一般廃棄物にあつては、特別管理一般廃棄物処理基準）が適用される者により、当該基準に適合しない一般廃棄物の収集、運搬又は処分が行われた場合（第三号に掲げる場合を除く。） 市町村長</p> <p>二 産業廃棄物処理基準又は産業廃棄物保管基準（特別管理産業廃棄物にあつては、特別管理産業廃棄物処理基準又は特別管理産業廃棄物保管基準）が適用される者により、当該基準に適合しない産業廃棄物の保管、収集、運搬又は処分が行われた場合（次号に掲げる場合を除く。） 都道府県知事</p> <p>三 無害化処理認定業者により、一般廃棄物処理基準（特別管理一般廃棄物にあつては、特別管理一般廃棄物処理基準）又は産業廃棄物処理基準（特別管理産業廃棄物にあつては、特別管理産業廃棄物処理基準）に適合しない一般廃棄物又は産業廃棄物の当該認定に係る収集、運搬又は処分が行われた場合 環境大臣</p>
	処分基準の未設定理由	<p>㊦：審査基準が法令及び条例等に定め尽くされているもの</p> <p>イ：処分実績がない又は将来的に見込みのないもの</p> <p>ウ：あらかじめ具体的な基準を定めることが困難なもの</p>
備 考	意見陳述の手続一弁明の機会の付与	